

おしえて!! 江戸健先生



しかも
健康費用の
約7割を
協会けんぽが
補助してくれる
から利用しない
手はないぞ!!

要診別	協会けんぽの加入者	35歳~74歳の被保険者
最高	18,865円のところ	
自己負担額	最高 5,282円	協会補助額 最高 13,583円

よ〜

そんなにも補助してくれるの!?

※令和4年度受診は約6割補助となります。



第四幕

生活習慣病予防健診の巻

健康的な体を持続するために
協会けんぽの補助を活用してお得に
生活習慣病予防健診を受けるのじゃ!



一年に一回 生活習慣病予防健診を受けよう!

生活習慣病予防健診とは

糖尿病などの生活習慣病は、早期の段階では自覚症状がない病気です。症状が現れた時には深刻な状況になっているケースも少なくありません。生活習慣病予防健診は、生活習慣病の早期発見を目的に血液検査や尿検査、がん検診など、加入者ご本人様が受けることができる健診です。年度内にお一人様につき1回、健診費用の一部を補助します。

受診対象者



協会けんぽに加入している
35歳から74歳の被保険者

※協会けんぽの加入者（ご本人）であることが必要です。

※当年度で75歳を迎える方は、誕生日の前日までに受診を終えていただく必要があります。

検査内容・健診費用

一般健診

35歳～74歳を対象にした、年1回の定期健診。各種測定や尿、血液を採取しての検査、胸や胃のレントゲン検査など約30項目の全般的な検査を実施します。

基本的な検査項目



問診・診察



身体測定



検尿



血液検査(脂質・血糖)



血圧測定



心電図検査



肝機能検査



35歳から危険性が高まるがん検査



胃がん



肺がん



大腸がん

付加健診

一般健診を受診する方のうち、当該年度において40歳及び50歳の被保険者を対象に、一般健診と併せて検査項目を増やし、病気の早期発見や生活習慣改善などの健康管理を行います。

※付加健診の項目の1つである肺機能検査については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止対応をとっている健診機関があります。健診機関ごとの実施状況につきましては、直接健診機関へお問い合わせください。

乳がん・子宮頸がん検診

一般健診を受診する40歳以上の偶数年齢の女性で受診を希望する被保険者を対象に、問診・乳房エックス線検査（マンモグラフィ）による乳がん検査、子宮細胞診（スメア方式）による子宮頸がん検査を実施します。

※40～48歳の方と50歳以上の方では検査の撮影方法が異なるため負担額が異なります。
※20～38歳で偶数年齢の女性は「子宮頸がん検診」単独で（一般健診を受けずに）受診することもできます。



健診費用の約**7割**を
協会けんぽが補助します！

※令和4年度受診は約6割補助となります。

受診の流れ

その1

希望の健診機関の確認・予約

健診機関を確認し、希望の健診機関に電話予約をしてください。ご予約の際は、健康保険証をご準備ください。また「協会けんぽの生活習慣病予防健診を受けたい」と伝えると対応が速やかです。

東京都内の健診機関はこちら▶

その2

健診を受ける

健診前に、健診機関より案内や問診票などが届きます。その内容に沿って受診してください。受診には健康保険証が必要になりますので、当日は必ずお持ちください。



健康保険証

その3

健診結果を受け取り 健康状態の確認を

受診後、個人用親展封筒などに入った健診結果が送付されます。特定保健指導対象者には、後日案内が届きます。